名称	ガソリンスタンド	

本作に特にモデルはありませんがセルフ給油の今時のガソリンスタンドです。

シャッターの開閉・屋根の開閉が出来ます

オマケの自動車

特集	ガソリンスタンド今昔	

自動車検査登録情報協会の自家用車登録台数は1966年以降増え続けています。2001年には登録台数は約75,500千台、2021年には約82,000千台と増えたのに対し、経済産業省資源エネルギー庁のデータでは2001年には5万か所を超えるガソリンスタンドが、2021年には2万8千箇所を割り込んでいます。近年は毎年500箇所程度減り続けているようです。

原因はガソリン車の燃費向上、EV車の増加、人口減少、若者の車離れなどの要因のほか、地下貯蔵タンクの改修・更新義務などに迫られ廃業する業者が出てきたことがあります。

上の写真は古いタイプの丹波篠山市のガソリンスタンド。屋根からノズルを下ろして給油するタイプ。ここでは今でもスタッフが給油・窓拭きをしてもらえるのですが、このタイプの給油所はすっかり数が減りました。

こちらは朝来市のセルフのガソリンスタンド。今はこのタイプの給油所が主流になりつつありますが、「今」と言えるのもあと何年？

タクシー営業所などで見かけるLPGガススタンド

これから増えると思われる燃料給油スタンド

こちらは近年数を増やしているEV車の急速充電スタンド。ガソリンスタンド減少の要因の一つとなっています。

中国・ヨーロッパではEV車の普及により急速に増えましたが、気温の低い時の燃費や航続距離、充電時間など問題点も色々明らかになっているようです。

こちらは水素スタンド。こちらはどの程度普及するのでしょうか？

もう何十年か経つとＥＶや燃料電池車が普及しガソリンスタンドの形や構造も大きく変わるのではないでしょうか。

今の形のガソリンスタンドもいずれ姿を変えるのでしょうね。